



※トラスツズマブ開始前に、心エコー・心電図検査を行うこと。また、3ヶ月に1回評価を行うこと。

ボナフェック坐剤 (12.5~50mg) 挿肛 (初回量時のみ)

- ① メインキープ【緑】 生理食塩液250mL / div
- ② メイン【赤-1】 生理食塩液100mL+アロカリス1V+パロノセトロン1V+デキサート3.3mg /div 30分
- ③ メイン【赤-2】 生理食塩液50mL /div 5分
- ④ メイン【赤-3】 生理食塩液100mL+キイトルーダ /div 30分
- ⑤ メイン【白】 生理食塩液250mL+注射用水+トラスツズマブ /div 初回90分、2回目以降30分  
注射用水は150mg:7.2mL、60mg:3mLで溶解  
※トラスツズマブの減量は許容されない
- ⑥ メイン【黄】 5%ブドウ糖液500mL+オキサリプラチン+デキサート3.3mg /div 2時間

#### 制吐剤セット処方④

Day2.3 デカドロン錠4mg 1錠(分1 朝食後)

#### 【腎機能低下時の減量方法】

※オキサリプラチン Ccr $\geq$ 20mL/minの場合は、減量の必要性はない

※カペシタビン クレアチンクリアランスに応じて、カペシタビンの投与量を変更すること

Ccr30~50mL/min : 75%Dose

Ccr<30mL/min : 禁忌

#### 【副作用による減量基準】

※カペシタビンの内服量 2000mg/m<sup>2</sup>/Day C法

FN $\geq$ G3、血小板減少 $\geq$ G2(7.5万に回復後1段階減量)、下痢・粘膜炎・FHS $\geq$ G2の場合、1段階減量

体表面積	1回用量※	1段階減量	2段階減量
------	-------	-------	-------

$\sim < 1.36 \text{ m}^2$	1200mg (4錠)	900mg (3錠)	600mg (2錠)
$1.36 \text{ m}^2 \leq \sim < 1.41 \text{ m}^2$	1500mg (5錠)	1200mg (4錠)	900mg (3錠)
$1.41 \text{ m}^2 \leq \sim < 1.51 \text{ m}^2$			
$1.51 \text{ m}^2 \leq \sim < 1.66 \text{ m}^2$	1800mg (6錠)	1500mg (5錠)	1200mg (4錠)
$1.66 \text{ m}^2 \leq \sim < 1.81 \text{ m}^2$			
$1.81 \text{ m}^2 \leq \sim < 1.96 \text{ m}^2$	2100mg (7錠)	1200mg (4錠)	900mg (3錠)
$1.96 \text{ m}^2 \leq \sim < 2.11 \text{ m}^2$			
$2.11 \text{ m}^2 \leq \sim$			

※オキサリプラチン

好中球減少 $\geq$ G4、FN $\geq$ G3、血小板減少 $\geq$ G3、末梢神経障害 $\geq$ 3の場合G2以下に回復し1段階減量

初回投与量：130mg/m<sup>2</sup>

1段階減量：100mg/m<sup>2</sup>

2段階減量：75mg/m<sup>2</sup>

3段階減量：50mg/m<sup>2</sup>

参考文献：KEYNOTE-811試験